

提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

案 件 名：あきる野市無電柱化計画（案）

募 集 期 間：令和6年10月1日（火）～令和6年10月21日（月）

意見等提出件数：3件（提出者1名）

あきる野市無電柱化計画（案）に対する意見募集にご意見ありがとうございました。

以下のとおり、ご意見の要旨と市の考え方について、ご紹介させていただきます。

No.	項 目	意見の概要	市の考え方
1	(P2) 第1章 はじめに 2. 無電柱化の目的 (3) 景観〈良好な都市景観の創出〉	無電柱化の目的(3)の景観については、特定の観光産業のメリットの見込める場所以外では費用対効果が著しく低く主たる目的とすべきではないと考える。	国土交通省の「無電柱化推進計画」や東京都における「東京都無電柱化計画」において、都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の創出を目的として掲げており、本計画はそれらを踏まえ、同様に3つの目的を示しています。
	(P20) 第4章 あきる野市における無電柱化に関する基本的な方針 3. 整備手法の選定	整備手法について、近隣市町村の取り組みの資料では、ほとんどの市町村がコスト削減の検討を明示している。このように他市が高額な費用を問題視している中、高額な従来工法を基本整備方針として予め選定してしまうのは拙速すぎると思います。せめて、他市と同様に、コスト削減の検討を継続すべきだと思います。	整備手法の選定にあたっては、コスト、施工性、維持管理、防災面、歩道幅員の観点で比較検討を行い、従来工法を基本の整備手法として選定しています。 実際の整備にあたっては、本計画の第5章の記載にありますように、国等の動向に合わせた低コスト手法の活用や、多様な整備手法の活用、補助金制度の活用等により整備費用のコスト削減を検討してまいります。
	(P23) 第4章 あきる野市における無電柱化に関する基本的な方針 4. 優先道路の選定	優先道路の選定について、「市道東秋留41号線」については、交通量も多く、費用対効果が見込めるため選定すべきだと考えるが、他の三件「市道Ⅱ-28号線（通称：さくら通り）」「市道Ⅱ-32号線」「市道東秋留38号線（通称：キララ通り）」については交通量も少ないため優先度は低く、その予算は福祉・教育に回すべきだと考える。	優先道路につきましては、市の管理する道路から、「防災」を最優先の位置づけとして、緊急輸送道路及び緊急輸送道路と接続する道路を対象とし、その中から整備の実現性がある道路を対象路線として選定しています。 実際の整備にあたっては、市全体における政策の優先順位を庁内全体で検討をしたうえで進めてまいります。